

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、お客様、株主、従業員、取引先、地域社会・地球環境の5つのステークホルダーとの信頼関係の構築が重要と捉えており、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでおります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果については、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことで共存共栄の関係をつくります。従業員への還元と同時に取引先への配慮を実施することで、持続的成長を実現して行くべく、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、人材理念に「従業員は社会からお預かりした貴重な財産である」と掲げています。当社の持続的な成長を牽引する主体は従業員であり、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて生産性向上を実現し、付加価値の最大化を目指します。その上で生み出した成果により、従業員への持続的な還元を実施します。賃金の引き上げをはじめとする総合的な処遇の改善や、従業員のエンゲージメント向上や挑戦を通じて成長していくことを支援するため、教育訓練等を中心に人材投資に積極的に取り組みます。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについては、労働組合との建設的な協議のもと、定期昇給や賃金改善などの処遇の改善、福利厚生などの労働条件の改善を実施していきます。また、教育訓練等については、次世代ビジネスリーダーや専門人材の育成など、従業員の能力開発やスキル教育による生産性向上を目指して投資を行っています。これらの実施を通じ、全員が挑戦したくなる活力あふれる会社の実現を目指していきます。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/74132-05-08-osaka.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年11月13日

積水化学工業株式会社

名 称

代表取締役社長 加藤 敬太

代表者の役職及び氏名